

S&P Dow Jones Indices

A Division of **S&P Global**

S&P ファクター指数 メソドロジー

2024年5月

この資料は翻訳版です。原文（英語版）と内容の相違がある場合は英語版の内容をご参照下さい。英語版は
www.spglobal.com/spdji よりご覧いただけます。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス：指数メソドロジー

目次

はじめに	2
指数の目的及びハイライト	2
補足資料	2
指数の構築	3
ファクター及びファクター指数	3
指数構築の概要	4
先物のロールオーバー	5
超過リターン指数の計算	5
トータル・リターン指数の計算	5
計算に用いる通貨、及び追加の指数リターン・シリーズ	5
指数ガバナンス	6
指数委員会	6
指数方針	7
公表	7
休日スケジュール	7
お問い合わせ先	7
指数の配信	8
ティッカー	8
指数データ	8
ウェブサイト	8
S&P Dow Jones Indices 免責事項	9
パフォーマンスに関する情報開示/バックテストされたデータ	9
知的財産権/免責条項	10
ESG 指数の免責事項	12

はじめに

指数の目的及びハイライト

S&P ファクター指数は、先物により構築されるそれぞれのサブ指数の間のスプレッド（プラスまたはマイナス）の違いを反映することを目的としています。

各指数は、均等に加重されたロング・サブ指数とショート・サブ指数から構成されており、対応するコモディティ間のスプレッドを反映するように算出されます。コモディティ間のスプレッドとは、ロング・サブ指数の価値とショート・サブ指数の価値における日々の変化の違いです。この指数はリアルタイムで算出されます。指数の構成に関する詳細については、この指数メソドロジーの「[指数構築の概要](#)」セクションを参照ください。

補足資料

このメソドロジーは、補足資料と併せて読まれるように意図されています。補足資料では、このメソドロジーに記載されている方針、手順、及び計算について、さらに詳細に説明してあります。このメソドロジー全体を通して、特定のテーマに関連する補足資料を紹介していますので、詳細についてはそちらをご覧ください。このメソドロジーで紹介している主な補足資料や、それらの資料のハイパーリンクについては、以下をご覧ください。

補足資料	URL
S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスのコモディティ指数方針及び実務メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Commodities Indices Policies & Practices Methodology)	S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスのコモディティ指数方針及び実務メソドロジー
S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスのコモディティ指数算出メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Index Mathematics Methodology)	S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスのコモディティ指数算出メソドロジー

このメソドロジーは、このメソドロジー資料に規定された各指数に対する投資家の関心を測定するという上述の目的を達成するために、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが開発したものです。指数が継続的に目的を達成するように、このメソドロジーに対する変更やこのメソドロジーからの逸脱は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス独自の判断と裁量によって行われます。

指数の構築

ファクター及びファクター指数

各ファクター指数は、ロング・サブ指数とショート・サブ指数から構成されています。ロング・サブ指数は、期近の先物のロング・ポジションで構成されています。ショート・サブ指数は、期近の先物のショート・ポジションで構成されています。各指数は、ロング・サブ指数の価値とショート・サブ指数の価値における日々の変化の違いであるコモディティ間のスプレッドを反映するように算出されます。指数ファミリーは年間を通じて毎日計算されます。指数はニューヨーク証券取引所（NYSE）の休日スケジュールに従います。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、以下に記載されている各指数のエクセス・リターン（ER）バージョンとトータル・リターン（TR）バージョンを算出します。

- **S&P 米国株式リスク・プレミアム指数**：この指数の構築では、S&P 500 先物指数（エクセス・リターン）のロング・ポジションと、S&P 米国債先物指数（エクセス・リターン）のショート・ポジションを取ります。

*指数の構築に関する情報については、それぞれ **S&P 先物指数メソドロジー**と **S&P グローバル債券先物シリーズ・メソドロジー** (www.spglobal.com/spdji/) を参照ください。*

- **S&P 500 米ドル以外指数**：この指数の構築では、S&P 500 先物指数（エクセス・リターン）のロング・ポジションと、S&P 米ドル先物指数（エクセス・リターン）のショート・ポジションを取ります。

*指数の構築については、**S&P 先物指数メソドロジー** (www.spglobal.com/spdji/) を参照ください。*

- **S&P 原油 – 株式スプレッド指数**：この指数の構築では、S&P GSCI 原油指数（エクセス・リターン）のロング・ポジションと、S&P 500 先物指数（エクセス・リターン）のショート・ポジションを取ります。

*構成サブ指数の構築については、それぞれ **S&P GSCI 指数メソドロジー**及び **S&P 先物指数メソドロジー** (www.spglobal.com/spdji/) を参照ください。*

- **S&P 金 – 株式スプレッド指数**：この指数の構築では、S&P GSCI 金指数（エクセス・リターン）のロング・ポジションと、S&P 500 先物指数（エクセス・リターン）のショート・ポジションを取ります。

*構成サブ指数の構築については、それぞれ **S&P GSCI 指数メソドロジー**及び **S&P 先物指数メソドロジー** (www.spglobal.com/spdji/) を参照ください。*

指数構築の概要

指数	サブ指数及びサブ指数先物取引	取引所 (シンボル)	基準日	サブ指数の基準ウ ェイト (%)	限月のロール オーバー
S&P 米国株 式リスク・ プレミアム 指数	<u>ロング・サブ指数:</u> S&P 500 先物指数 (エクセス・リター ン) <u>ロング・サブ指数先物取引:</u> E ミニ S&P 500 株価指数先物	CME (ES)	1997年9 月9日	100	36月、9月、 12月
	<u>ショート・サブ指数:</u> S&P 米国債先物指数 (エクセス・リタ ーン) <u>ショート・サブ指数先物取引:</u> 米国債先物	CME (ZB)	1997年9 月9日	100	
S&P 500 米 ドル以外指 数	<u>ロング・サブ指数:</u> S&P 500 先物指数 (エクセス・リター ン) <u>ロング・サブ指数先物取引:</u> E ミニ S&P 500 株価指数先物	CME (ES)	1997年9 月9日	100	3月、6月、9 月、12月
	<u>ショート・サブ指数:</u> S&P 米ドル先物指数 <u>ショート・サブ指数先物取引:</u> 米ドル指数先物	ICE (DX)	1997年9 月9日	100	
S&P 原油 - 株式スプレ ッド指数	<u>ロング・サブ指数:</u> S&P GSCI 原油指数 (エクセス・リター ン) <u>ロング・サブ指数先物取引:</u> 軽質スイート原油先物	NYMEX (CL)	1997年9 月9日	100	3月、6月、9 月、12月
	<u>ショート・サブ指数:</u> S&P 500 先物指数 (エクセス・リター ン) <u>ショート・サブ指数先物取引:</u> E ミニ S&P 500 株価指数先物	CME (ES)	1997年9 月9日	100	3月、6月、9 月、12月
S&P 金・株 式スプレッ ド指数	<u>ロング・サブ指数:</u> S&P GSCI 金指数 (エクセス・リター ン) <u>ロング・サブ指数先物取引:</u> 金先物	COMEX (GC)	1997年9 月9日	100	S&P GSCI の スケジュール に従ってロー ルオーバー
	<u>ショート・サブ指数:</u> S&P 500 先物指数 (エクセス・リター ン) <u>ショート・サブ指数先物取引:</u> E ミニ S&P 500 株価指数先物	CME (ES)	1997年9 月9日	100	3月、6月、9 月、12月

注:

CME = シカゴ・マーカンタイル取引所またはその継承者

ICE = インターコンチネンタル取引所またはその継承者

NYMEX = ニューヨーク・マーカンタイル取引所またはその継承者

COMEX = ニューヨーク・マーカンタイル取引所またはその継承者の COMEX 部門

先物のロールオーバー

先物により構築される各サブ指数には、満期日が近づいた先物を次の限月にロールオーバーする規定が盛り込まれています（ローリングまたはロールとも言います）。

各原指数のロール期間に関する詳細については、このメソドロジーの「**ファクター及びファクター指数**」セクションで提供されている各対応指数のメソドロジーを参照ください。

超過リターン指数の計算

各指数の超過リターンは、対象となる先物取引の価格変動に基づいて計算されます。超過リターン指数の水準の計算に関する情報については、**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスのコモディティ指数算出メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Index Mathematics Methodology)** の「**加重指数リターン**」セクションにおける**ファクター指数の計算**を参照ください。

トータル・リターン指数の計算

この指数では、リターンの金利を計算する際には実際の日数ではなく、営業日数を使用します。トータル・リターン指数の水準の計算に関する情報については、**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスのコモディティ指数算出メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Index Mathematics Methodology)** の「**レバレッジド指数及びインバース指数**」セクションを参照ください。

計算に用いる通貨、及び追加の指数リターン・シリーズ

このメソドロジーに詳述されている指数に加え、これらの指数の追加のリターン・シリーズ・バージョンが利用可能な場合もあります。利用可能なバージョンには、通貨バージョン、通貨ヘッジ・バージョン、減衰バージョン、公正価値バージョン、インバース・バージョン、レバレッジド・バージョン、及びリスク・コントロール・バージョンなどが含まれます（ただし、これらに限定されない）。利用可能な指数のリストについては、[S&P DJI メソドロジー及び規制状況データベース](#)を参照ください。

様々な指数の計算に関する詳細については、**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスのコモディティ指数算出メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Commodity Index Mathematics Methodology)** の「**その他の派生指数**」セクションを参照ください。

特定タイプの指数（減衰指数、ダイナミック・ヘッジ指数、公正価値指数、及びリスク・コントロール指数など）を算出するために必要なインプットについては、www.spglobal.com/spdji/ で入手可能なパラメータ資料を参照ください。

指数ガバナンス

指数委員会

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数委員会が S&P ファクター指数シリーズを維持します。指数委員会は、通貨、リバランスのタイミング、またはその他の事項に関する指数方針を修正する場合があります。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、指数や関連事項の変更に関する情報が市場動向に重大な影響を及ぼす可能性があると考えています。したがって、指数委員会の協議内容は全て非公開となります。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数委員会は、必要があれば、メソドロジーを適用する際に例外を設ける権利を留保します。本資料や補足資料に記載されている一般的なルールと異なる取り扱いを行う場合、お客様は可能なときはいつでも事前に通知を受けます。

日々の指数のガバナンスや指数メソドロジーの維持に加え、指数委員会は 12 ヶ月間に少なくとも 1 回、メソドロジーのレビューを行います。これにより、指数が所定の目的を引き続き達成し、データやメソドロジーが有効であることを確認します。場合によっては、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは相談を実施し、外部当事者からの意見を聴取することがあります。

メソドロジーの品質管理および内部での見直しに関する詳細については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスのコモディティ指数の方針及び実務メソドロジー (*S&P Dow Jones Indices' Commodities Indices Policies & Practices Methodology*) を参照ください。

指数方針

公表

リバランスの公表は、必要に応じてリバランス日の2日前に行われます。指数は、関連する米国先物市場が正式に開かれている時（休日及び週末を除く）には毎日算出されます。

コンピュータまたは電力の障害、気象条件、またはその他の事象など予期せぬ事象により取引所が早期閉鎖を強いられるような状況では、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、取引所が公表する直近の先物価格に基づいて指数の価値を算出します。予期せぬ事情により、取引所が開かれなかった場合、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、その日の指数を公表しないことを決定する場合があります。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの公表に関する詳細については、公表方針を参照ください。

休日スケジュール

指数は年間を通して毎日算出されます。指数は、ニューヨーク証券取引所（NYSE）の休日スケジュール（米国債先物のスケジュール（米国債休日スケジュール）とは異なる）に従います。NYSE が開いている時に米国債市場が休日の場合、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、前日の米国債先物取引価格を使用し、当日の指数水準を算出します。

年間の正確な休日スケジュールについては、www.spglobal.com/spdji/を参照ください。

計算ならびにプライシング障害、専門家の判断、データの階層、予想外の取引所の閉鎖、及びエラー修正に関する詳細については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの商品指数の方針及び実務メソドロジー（S&P Dow Jones Indices' Commodities Indices Policies & Practices Methodology）を参照ください。

お問い合わせ先

指数に関するご質問については、index_services@spglobal.comにお問い合わせください。

指数の配信

指数水準については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスのウェブサイト www.spglobal.com/spdji/ や、主要な情報ベンダー（以下のコードを参照ください）、投資関連のウェブサイト、活字及び電子メディアなどをご覧ください。日々の指数水準及び指数データについては、申し込みにより取得可能です。

ティッカー

以下の表では、この資料でカバーしているヘッドライン指数についてまとめています。以下の指数の全てのバージョンも、本資料でカバーしています。本資料でカバーしている指数の完全なリストについては、[S&P DJI メソドロジー及び規制状況データベース](#)を参照ください。

指数	BBG - リアルタイム	BBG	RIC	算出開始日	基準日	基準価格
S&P 米国株式リスク・プレミアム指数 (エクセス・リターン)	SPUSERPP	--	.SPUSERPP	09/09/1997	08/02/2010	100
S&P 米国株式リスク・プレミアム指数 (トータル・リターン)	SPUSERPT	--	.SPUSERPT	09/09/1997	08/02/2010	100
S&P 500 米ドル以外指数 (エクセス・リターン)	SPNUSDP	--	.SPNUSDP	09/09/1997	08/02/2010	100
S&P 500 米ドル以外指数 (トータル・リターン)	SPNUSDTR	--	.SPNUSDTR	09/09/1997	08/02/2010	100
S&P 原油 - 株式スプレッド指数 (エクセス・リターン)	SPCOESP	--	.SPCOESP	09/09/1997	08/02/2010	100
S&P 原油 - 株式スプレッド指数 (トータル・リターン)	SPCOESTR	--	.SPCOESTR	09/09/1997	08/02/2010	100
S&P 金 - 株式スプレッド指数 (エクセス・リターン)	SPGDESP	--	.SPGDESP	09/09/1997	08/02/2010	100
S&P 金 - 株式スプレッド指数 (トータル・リターン)	SPGDESTR	--	.SPGDESTR	09/09/1997	08/02/2010	100

指数データ

日々の構成銘柄及び指数水準のデータについては、申し込みにより取得可能です。

商品情報については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス www.spglobal.com/spdji/en/contact-us にお問い合わせください。

ウェブサイト

詳細については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスのウェブサイト www.spglobal.com/spdji/ を参照ください。

S&P Dow Jones Indices 免責事項

パフォーマンスに関する情報開示/バックテストされたデータ

S&P Dow Jones Indicesは、透明性を提供することにより顧客を支援するために、様々な日付を定義しています。初回評価日は、所定の指数の（現実またはバックテストの）計算値が存在する最初の日です。基準日とは、所定の指数が計算のために固定値で設定されている日付を指します。ローンチ日とは、所定の指数の価値が最初に現実と見なされる日付を指します。指数のローンチ日より前の任意の日付または期間に提供された指数値は、バックテストされたものと見なされます。S&P Dow Jones Indicesでは、ローンチ日につき、例えばS&P Dow Jones Indicesの公開ウェブサイトまたは外部当事者に対するそのデータフィードを介して、指数の価値が一般公表されたことが知られる日付と定義しています。2013年5月31日より前に導入されたDow Jonesブランドの指数については、ローンチ日（2013年5月31日より前は「導入日」と呼ばれていた）は、指数の一般公表日より前には認められていた可能性があるものの、指数メソドロジーに対するそれ以上の変更が認められなくなった日に設定されています。

指数のリバランスの方法とタイミング、追加及び削除の基準、ならびに全ての指数計算など、指数の詳細については、当該指数のメソドロジーを参照してください。

指数のローンチ日より前に提示された情報は全て、仮説に基づく（バックテストされた）ものであって、実際のパフォーマンスではありません。バックテスト計算は、指数のローンチ日に有効だったメソドロジーと同じ方法に基づいています。ただし、市場が異常を示した期間など、全体的な最新市場環境を反映していない期間を対象に、バックテストされた履歴を作成する場合には、十分に大きな同じ性質の証券を把握するために、指数メソドロジールールを緩和してもかまいません。それにより、その指数で測定することを意図した対象市場、またはその指数で把握することを意図した戦略のシミュレーションを行うことができます。例えば、市場時価総額と流動性の限界を引き下げることができます。さらに、S&P 暗号通貨指数のバックテスト・データに関しては、フォーク（ブロックチェーンの分岐）の影響が考慮されていません。S&P 暗号通貨トップ5イコール・ウェイト指数及びS&P 暗号通貨トップ10イコール・ウェイト指数については、メソドロジーのカストディ要素が考慮されておらず、バックテストの過去履歴は、ローンチ日時点においてカストディ要素の要件を満たす指数構成銘柄に基づいています。また、指数管理の決定を正確に複製することは困難であるため、バックテストされたパフォーマンスにおけるコーポレート・アクションの取り扱い、実在する指数に対するコーポレート・アクションの取り扱いと異なる場合があります。バックテストされたパフォーマンスは、指数のメソドロジーに加えて、事後的な情報やパフォーマンスによい影響を与えた可能性がある要因についての知識に基づく構成銘柄の選定を反映したものであり、結果に影響を及ぼしうる全ての財務リスクを考慮したものではなく、生存者バイアス/先読みバイアスが含まれていると見なすことも可能です。実際のリターンは、バックテストされたリターンとは大きく異なり、これよりも少ないものとなる場合があります。過去のパフォーマンスは将来の成績を示唆または保証するものではありません。

一般にS&P DJIでは、バックテストされた指数データを作成する際に、構成銘柄の実際の過去データ（過去の株価、時価総額、及び企業活動に関するデータ等）を使用します。ESG投資はまだ開発の初期段階にあるため、S&P DJIのESG関連インデックスを作成するために使用される一部のデータポイントは、過去のデータをバックテストしたい対象期間全体にわたり入手できない場合があります。データの利用可能性に関するこの問題は、他の指数にも当てはまります。対象となる全ての過去の期間に対して実際のデータが入手できない場合、S&P DJIでは、ESGデータの「バックワード・データ・アサンプション」（または、引き戻し）と呼ばれるプロセスを通じて、バックテストされた過去のパフォーマンスを算定する場合があります。「バックワード・データ・アサンプション」とは、当該指数の構成銘柄につき、指数のパフォーマンスを算定するために用いる過去のデータ全てに、入手可能な実際のデータポイント

のうち最も過去のものを適用するプロセスを指します。例えばバックワード・データ・アサンプションでは、その前提として、特定の業務活動（「製品関与」と呼ぶ場合もある）を現在行っていない企業は過去においてもかかる業務活動を行ったことがないと想定し、同様に、現在特定の業務活動を行っている企業は過去においてもかかる活動を行っていたと想定します。バックワード・データ・アサンプションは、実際のデータのみを使用する場合よりも長期にわたる過去の期間を対象として、仮説的なバックテストを可能にするものです。「バックワード・データ・アサンプション」について詳しく知りたい場合は、FAQをご覧ください。バックテストされた過去のパフォーマンスにつき、バックワード・データ・アサンプションを採用している指数では、そのメソドロジー及びファクトシートにおいてその旨を明記します。かかるメソドロジーには、遡及的にデータが適用された箇所における具体的なデータポイント及び当該の時期を示す表が記載された別紙が含まれます。

表示される指数の収益率は、投資資産/証券の実際の取引結果を表しません。S&P Dow Jones Indicesは、指数を維持し、提示または議論された指数のレベルとパフォーマンスを算出しますが、実際の資産を管理してはしません。指数の収益率は、指数のパフォーマンスを追跡するよう意図された、指数または投資ファンドの基礎となる、投資家が証券を購入するために支払う販売手数料や料金の支払いを反映していません。これらの料金や手数料が課されることで、証券/ファンドの実際及びバックテストのパフォーマンスは、提示される指数パフォーマンスよりも低くなる可能性があります。簡単な例としては、10万米ドルの投資に指数が12ヶ月間に10%の収益率（つまり1万米ドル）を上げ、投資に経過利息を加えた金額に1.5%の実際の資産ベースの手数料（つまり1,650米ドル）が課されると、1年間の純収益率は8.35%（つまり8,350米ドル）になります。3年間にわたり、年10%の収益率で、年末に年1.5%の手数料を徴収されると想定すると、結果的に累積総収益率は33.10%、合計手数料は5,375米ドル、及び累積純収益率は27.2%（つまり2万7,200米ドル）になります。

知的財産権/免責条項

© 2024 S&P Dow Jones Indices。無断複写・転載を禁じます。S&P、S&P 500、SPX、SPY、The 500、US 500、US 30、S&P 100、S&P COMPOSITE 1500、S&P 400、S&P MIDCAP 400、S&P 600、S&P SMALLCAP 600、S&P GIVI、GLOBAL TITANS、DIVIDEND ARISTOCRATS、Select Sector、S&P MAESTRO、S&P PRISM、S&P STRIDE、GICS、SPIVA、SPDR、INDEXOLOGY、iTraxx、iBoxx、ABX、ADBI、CDX、CMBX、MBX、MCDX、PRIMEX、HHPI、及び SOVX は、S&P Global, Inc.（以下、「S&P Global」という）またはその関係会社の登録商標です。DOW JONES、DJIA、THE DOW、及び DOW JONES INDUSTRIAL AVERAGE は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の商標です。これらの商標は、その他と一緒に S&P Dow Jones Indices LLC にライセンス供与されています。再配布または複製は、全部か一部かを問わず、S&P Dow Jones Indices LLC の書面による許可がない限り禁止されています。本文書は、S&P DJI が必要なライセンスを持たない法域でサービスを提供するものではありません。特定のカスタム指数計算サービスを除き、S&P DJI が提供する全ての情報は個人とは無関係なものであり、いかなる個人、事業体または集団のニーズに合わせて調整されたものではありません。S&P DJI は、第三者にその指数をライセンス供与すること、及びカスタム計算サービスを提供することに関連して報酬を受けています。指数の過去のパフォーマンスは、将来の成績を示唆または保証するものでもありません。

指数に直接投資することはできません。指数が表す資産クラスへのエクスポージャーは、その指数に基づく投資可能な商品を通して利用できる場合があります。S&P DJI は、第三者が提供する、また指数のパフォーマンスに基づく投資収益を提供しようとするいかなる投資ファンドまたはその他の投資手段についても、スポンサー、保証、販売、販売促進または管理を行いません。S&P DJI は、指数に基づく投資商品が、指数のパフォーマンスを正確に追跡する、またはプラスの投資収益率を提供することを保証しません。S&P DJI は投資顧問会社、商品投資顧問業者、受託者、「プロモーター」（1940年投資会社法（改訂）において定義されている）、または「エキスパート」（合衆国法典第15編第77条（15 U.S.C. § 77k）内に列挙されている）ではなく、また S&P DJI はかかる投資ファンドまたはその他の投資手段への投資の妥当性に関して一切表明することはありません。かかる投資ファンドまたはその他の投資手段への投資決定は、本文書に記載される意見に頼って行われるべきではありません。S&P DJI は税金の顧

間会社ではありません。指数に証券が含まれることは、S&P DJI がかかる証券、コモディティ、暗号通貨、またはその他の資産の売り、買い、またはホルドの推奨を意味するものではなく、投資または取引のアドバイスとして見なしてはなりません。

これらの資料は、一般的に公衆が利用可能な信頼できると確信される情報に基づき、情報提供のみを目的として作成されています。これらの資料に記載される内容（指数データ、格付け、信用関連の分析やデータ、リサーチ、評価、モデル、ソフトウェアやその他のアプリケーションまたはそれからのアウトプット）またはそのいかなる部分（「内容」）も、S&P DJIによる事前の書面による承認なく、いかなる形式やいかなる手段によっても、改変、リバースエンジニアリング、複製または配布、もしくはデータベースまたは検索システムへの保存を行うことはできません。内容は、違法または未許可の目的で使用してはなりません。S&P DJI及びその第三者データプロバイダーならびにライセンサー（総称して「S&P Dow Jones Indices当事者」）は、内容の正確性、完全性、適時性または利用可能性について保証しません。S&P Dow Jones Indices当事者は、理由に関係なく、内容の利用から得られた結果について、いかなる過誤または遺漏に対しても責任を負いません。内容は、「現状有姿」で提供されています。S&P DOW JONES INDICES当事者は、商品性または特定目的や利用への適合性、バグやソフトウェアのエラーまたは欠陥がないこと、内容の機能が中断されないこと、もしくは内容がいかなるソフトウェアやハードウェア構成によっても動作することを含むがこれに限定されない、あらゆる明示または黙示の保証も否認します。S&P Dow Jones Indices当事者は、いかなる場合も、いかなる当事者に対しても、内容の使用に関連する、いかなる直接的、間接的、付随的、懲罰的、補償的、懲戒的、特別または派生的な損害、費用、経費、法的費用、または損失に対しても（逸失収入または逸失利益、及び機会費用を含むがこれに限定されない）、たとえかかる損害の可能性について知らされていたとしても、責任を負いません。

信用関連の情報、及び格付け、リサーチ及び評価を含むその他の分析は、一般に、ライセンサー及び/または S&P Global Market Intelligence といった S&P Global のその他の部門を含むがこれに限定されない、S&P Dow Jones Indices の関連会社によって提供されています。信用関連の情報ならびに内容の中のその他の関連分析及び発言は、表明された日時点での意見の記述であり、事実を記述したものではありません。いかなる意見、分析及び格付承認決定も、証券を購入、保有または売却するため、または投資決定を行うための推奨ではなく、いかなる証券の適合性について言及するものではありません。S&P Dow Jones Indices は、いかなる形態または形式でも、公表後に内容を更新する義務を負いません。投資またはその他のビジネス上の決定を行う際に、内容に頼るべきではなく、また利用者、その経営陣、従業員、顧問及び/または顧客のスキル、判断及び経験またそれらの代わりとなるものでもありません。S&P Dow Jones Indices LLC は、受託者または投資顧問会社としては行動しません。S&P Dow Jones Indices は、信頼できると確信する情報源から情報を取得するものの、S&P Dow Jones Indices は、受領する情報の監査を行ったり、デューディリジェンスや独立した検証の義務を負ったりしません。S&P DJI は、規制またはその他の理由により、いつでも指数を変更または中止する権利を留保します。様々な要因（S&P DJI が管理できない外部要因を含む）により、指数の大幅な変更が必要となる場合があります。

規制機関が格付機関に対して、特定の規制目的で別の法域で発行された格付けをある法域で承認することを認める範囲で、S&P Global Ratings は、いつでもその単独の判断で、かかる承認を割当、撤回または停止する権利を留保します。S&P Dow Jones Indices は、S&P Global Ratings を含め、承認の割当、撤回または停止から生じるいかなる義務も、またその理由で被ったと主張されるいかなる損害の賠償責任も否認します。S&P Dow Jones Indices LLC の関連会社は、S&P Global Ratings を含め、その格付け及び特定の信用関連の分析に対して、通常は発行体または証券の引受会社もしくは債務者から報酬を受ける場合があります。かかる S&P Dow Jones Indices の関連会社は、S&P Global Ratings を含め、その意見及び分析を普及させる権利を留保します。S&P Global Ratings からの公開格付け及び分析は、そのウェブサイト、www.standardandpoors.com（無料）及び www.ratingsdirect.com と www.globalcreditportal.com（購読）で利用でき、S&P Global Ratings の出版物及び第三者再配布業者を通じた場合を含め、その他の方法で配布される場合があります。当社の格付け料金についての追加の情報は、www.standardandpoors.com/usratingsfees から入手できます。

S&P Global は、その様々な部門及び事業部の特定の活動を、それらの各活動の独立性と客観性を守るために相互に分離しています。その結果、S&P Global の特定の部門及び事業部が、他の事業部では利用できない情報を保有している場合があります。S&P Global は、各分析プロセスに関連して受け取った特定の非公開情報の秘密性を保持するために、方針及び手順を確立しています。

さらに、**S&P Dow Jones Indices**は、証券の発行体、投資顧問、ブローカーディーラー、投資銀行、その他の金融機関及び金融仲介機関を含む多くの組織に対して、またはそれらに関連して、広範なサービスを提供しており、従って、推薦、格付け、モデルポートフォリオへ組み入れ、評価または別途言及する可能性がある証券やサービスの組織を含め、それらの組織から手数料またはその他の経済的利益を受ける場合があります。

一部の指数では世界産業分類基準（**GICS®**）を使用しています。これは、**S&P Global**と**MSCI**によって作成され、同二社の独占的財産かつ商標です。**MSCI**、**S&P DJI**、及び**GICS**分類の作成または編纂に関与したその他の当事者のいずれも、かかる基準または分類（またはそれを利用することで得られる結果）に関して、いかなる明示的または黙示的な保証または保証も行わず、かかる当事者は全て、かかる基準または分類に関して、独自性、正確性、完全性、商品性または特定目的への適合性の全ての保証を本書により明示的に否認します。前述の内容に制限を加えることなく、いかなる場合でも、**MSCI**、**S&P DJI**、その関連会社または**GICS**分類の作成または編纂に関わるいかなる第三者も、いかなる直接的、間接的、特別、懲戒的、派生的、またはその他の損害（逸失利益を含む）について、たとえかかる損害の可能性について知らされていたとしても、責任を負いません。

S&P Dow Jones Indicesの商品は、それらの商品が提供される契約の条件により管理されています。**S&P Dow Jones Indices**及び（または）指数データを使用する、これに基づいている、及び（または）これを参照する商品あるいはサービスを表示する、そこから派生するデリバティブ商品を組成する、及び（または）配布するには、**S&P Dow Jones Indices**からライセンスを取得する必要があります。

ESG 指数の免責事項

S&P DJIは、特定の環境・社会・ガバナンス（**ESG**）指標、または以下のような指標の組み合わせに基づいて（ただし、これらに限定されない）、指数構成銘柄の選択、除外、及び（または）ウェイト設定を行います：環境指標（天然資源の効率的利用、廃棄物の生産、温室効果ガス排出量、または生物多様性への影響など）、社会指標（不平等及び人材投資など）、ガバナンス指標（健全な経営陣の構成、従業員との関係、従業員の報酬、税務コンプライアンス、人権尊重、汚職防止、及び贈賄防止など）、特定の持続可能性または価値観に関連する企業の関与指標（例えば、非人道的兵器、タバコ製品、燃料炭の製造/販売など）、または論争の的となる問題のモニタリング（**ESG**関連事件に関与する企業を特定するための報道機関のリサーチを含む）。

S&P DJIの**ESG**指数では、指数構成銘柄の選択及び（または）ウェイト付けにおいて**ESG**指標や**ESG**スコアを使用しています。**ESG**スコアまたは格付けでは、環境、社会、及びコーポレート・ガバナンスの問題に関する企業あるいは資産のパフォーマンスを測定・評価することに努めています。

S&P DJIの**ESG**指数で使用される**ESG**スコア、格付け、及びその他のデータは、サードパーティにより直接的または間接的に提供されています（これらのサードパーティは、**S&P** グローバルの独立した関連会社である場合もあれば、無関係の事業体である場合もある）。したがって、**S&P DJI**の**ESG**指数が**ESG**要因を反映できるかどうかについては、これらのサードパーティが提供するデータの正確性や入手可能性に左右されます。

ESGスコア、格付け、及びその他のデータは、報告される（つまり、データが企業または資産により開示されたものとして提供されている、または公に入手可能なものとして提供されている）、モデル化される（つまり、データがプロキシのみを使用して作成され、独自のモデル化プロセスを使用して導き出されている）、または報告・モデル化される（つまり、データが報告されたデータとモデル化されたデータの組み合わせであるか、または独自のスコアリングや決定プロセスにおいて報告されたデータ/情報を使用してベンダーから導き出されるかのいずれかである）場合があります。

ESGスコア、格付け、及びその他のデータは、外部及び（または）内部の情報源から提供されるかを問わず、定性的評価及び判断的評価に基づいています。特に、明確に定義された市場基準が存在しない場合には、独自の判断を行う必要があります。これは、ESG要因や検討事項を評価する上で複数のアプローチやメソッドロジーが存在するためです。したがって、ESGスコア、格付け、またはその他のデータには、主観的な要素や裁量的な要素が含まれています。ESGスコアリング、格付け、及びデータソースが異なれば、ESGの評価手法や推定メソッドロジーも異なる場合があります。また、特定の企業、資産、または指数の持続可能性やインパクト（社会・環境への影響）に関しては、関与する人（ESGデータの格付けプロバイダーまたはスコアリングのプロバイダー、指数のアドミニストレーター、あるいはユーザーを含む）が異なれば、最終的な結論も異なる場合があります。

指数が、サードパーティにより直接的または間接的に提供されるESGスコア、格付け、またはその他のデータを使用している場合、S&P DJIは当該ESGスコア、格付け、またはデータの完全性や正確性について責任を負いません。「ESG」、「サステナブル」、「グッドガバナンス」、「有害ではない環境的インパクト、社会的インパクト、及びその他のインパクト」、または同等に分類されるその他の目的を決定するための単一の明確かつ決定的なテストや枠組み（法的、規制的、またはその他）は存在しません。明確に定義された市場基準がない場合、または数多くのアプローチが存在することにより、独自の判断を行う必要があります。したがって、「ESG」、「サステナブル」、「グッドガバナンス」、「有害ではない環境的インパクト、社会的インパクト、及びその他のインパクト」、あるいは同等に分類されるその他の目的に関して、関与する人が異なれば、同じ投資、商品、及び戦略について異なる分類が行われる場合があります。さらに、新たな規制及び業界の規則やガイダンスが発行され、ESGサステナブル・ファイナンスの枠組みがアップデートされている中で、「ESG」、「サステナブル」、「グッドガバナンス」、「有害ではない環境的インパクト、社会的インパクト、及びその他のインパクト」、あるいは同等に分類されるその他の目的を構成するものに関する法的及び（または）市場の見解は、時間の経過とともに変化する可能性があります。

S&P DJIのESG指数のユーザーは、指数メソッドロジーや開示情報を注意深く読み、その指数が使用事例や投資目的に合致しているかどうかを判断することが推奨されます。